

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	約 5 年間（2015年 5 月 7 日～2020年 5 月15日）	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	メキシコ株マザーファンドの受益証券
	メキシコ株マザーファンド	イ. メキシコの金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および店頭登録予定を含みます。以下同じ。）の株式および不動産投資信託証券（不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券をいいます。以下同じ。） ロ. メキシコの企業のＤＲ（預託証券） ハ. メキシコの株価指数を対象指数とした上場投資信託証券（ＥＴＦ）
マザーファンドの運用方法	①主として、メキシコの株式等（※）に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。 ※当ファンドにおけるメキシコの株式等とは、メキシコの金融商品取引所上場および店頭登録の株式および不動産投資信託証券、メキシコの企業のＤＲ（預託証券）ならびにメキシコの株価指数を対象指数としたＥＴＦをいいます。また、メキシコから売上または利益の大半を得ていると運用委託会社が判断する企業の株式に投資する場合があります。 ②運用にあたっては、以下の点に留意します。 イ. 時価総額や流動性を勘案して投資対象銘柄を選定します。 ロ. 投資対象銘柄について、ボトムアップ・アプローチに基づいて個別企業の分析を行ない、高い利益成長が期待できる銘柄、収益力等に対して株価が割安と判断される銘柄などを組入候補銘柄として選定します。 ハ. 株価バリュエーション、業種分散等を勘案し、ポートフォリオを構築します。 ③外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。 ④株式等の組入比率は、通常の状態 で高位に維持することを基本とします。 ⑤為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	
	ベビーファンドの株式実質組入上限比率	無制限
マザーファンドの株式組入上限比率		
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

メキシコ株ファンド

運用報告書(全体版)
第 2 期

(決算日 2016年 5 月17日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。
さて、「メキシコ株ファンド」は、このたび、第 2 期の決算を行ないました。
ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目 9 番 1 号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の 9：00～17：00）
<http://www.daiwa-am.co.jp/>

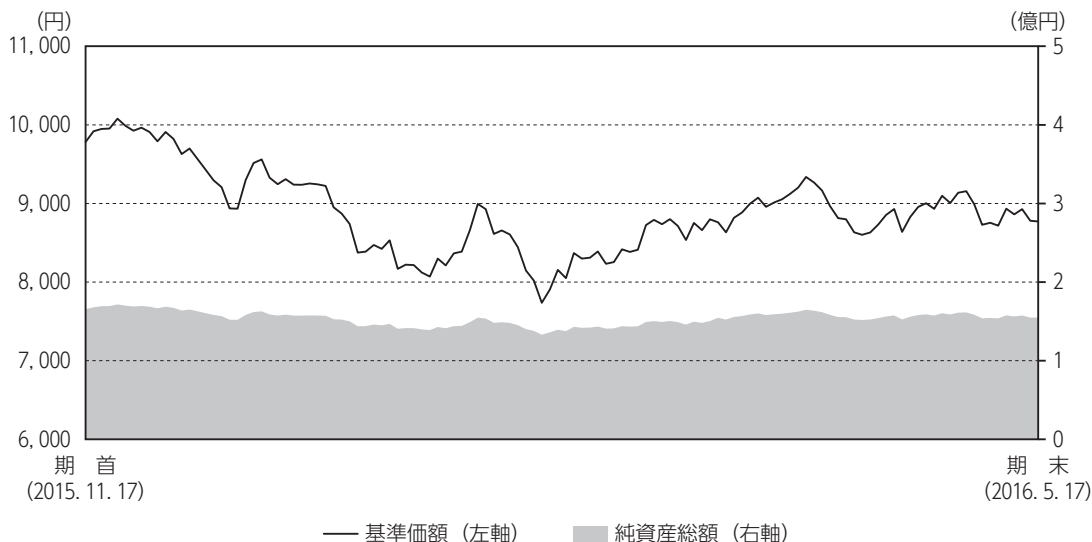
設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			メキシコ ボルサ指数 (円換算)		株 式 組入比率	株 式 先物比率	投資信託 証券 組入比率	純資産 総 額
		税込み 分配金	期 中 騰落率	(参考指数)	期 中 騰落率				
	円	円	%		%	%	%	%	百万円
1 期末 (2015年11月17日)	9,781	0	△ 2.2	9,199	△ 8.0	96.9	—	—	165
2 期末 (2016年 5月17日)	8,771	0	△ 10.3	7,814	△ 15.1	97.3	—	—	154

- (注 1) メキシコ ボルサ指数 (円換算) は、メキシコ ボルサ指数 (メキシコ・ペソベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。
- (注 2) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注 3) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
- (注 4) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

基準価額等の推移について



■基準価額・騰落率

期 首：9,781円

期 末：8,771円

騰落率：△10.3%

■基準価額の主な変動要因

雇用者数の増加や低インフレ率を背景にメキシコの消費は好調を維持しましたが、中国や米国景気の減速に対する警戒感が悪材料となりました。このような環境の中、メキシコ株式に投資した結果、保有していたメキシコ株式は現地通貨建てで上昇したものの、為替相場でメキシコ・ペソが対円で下落したことが響き、基準価額は下落しました。

メキシコ株ファンド

年 月 日	基 準 価 額		メキシコ ボルサ指数 (円換算)		株 式 組入比率	株 式 先物比率	投資信託 証券 組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
(期首) 2015年11月17日	円	%		%	%	%	%
	9,781	—	9,199	—	96.9	—	—
11月末	9,908	1.3	9,383	2.0	96.9	—	—
12月末	9,243	△ 5.5	8,703	△ 5.4	97.1	—	—
2016年 1 月末	8,661	△ 11.5	8,016	△ 12.9	97.9	—	—
2 月末	8,383	△ 14.3	7,759	△ 15.7	96.7	—	—
3 月末	9,337	△ 4.5	8,655	△ 5.9	97.6	—	—
4 月末	9,156	△ 6.4	8,371	△ 9.0	98.1	—	—
(期末) 2016年 5 月17日	8,771	△ 10.3	7,814	△ 15.1	97.3	—	—

(注) 騰落率は期首比。

投資環境について

○メキシコ株式市況

期首から2016年1月にかけては、米国や中国の景気減速懸念が強まったことや、原油価格の急落により投資家の不安心理が高まったことなどを背景に、メキシコ株式市況は軟調な展開となりました。その後は、F R B（米国連邦準備制度理事会）が目先の利上げを見送るとの見方が強まったことを機に反発に転じました。さらに2月には、メキシコ政府が健全な財政収支を維持するための歳出削減を発表すると同時に、メキシコ中央銀行が予想外の利上げと機動的な為替介入政策の導入を発表したことも好感され、3月後半にかけて堅調な展開が続きました。その後は、好調なメキシコの消費が好感された一方で、メキシコ株式市場の代表的株価指数であるボルサ指数が過去最高値に近づき利益確定売りが増えたことや、一部大手企業の決算が市場予想を下回ったことが失望されたため、方向感のない展開が続き、期末を迎えました。

○為替相場

主要な投資先であるメキシコ・ペソは期首7円台前半で始まりました。米国や中国の景気失速懸念や、原油価格の下落によるメキシコの財政収支への悪影響が懸念されたため、2016年2月にかけてペソ安が進行し、一時は5.8円台まで下落しました。その後は、メキシコ政府とメキシコ中央銀行による共同の政策対応や、原油価格の回復、F R Bの利上げの先送り観測などを背景に、3月にかけて6円台半ばまでペソは上昇しました。しかし、円が主要通貨に対して急速に上昇したことでペソも円に対して下落し、5円台後半で期末を迎えました。

前期における「今後の運用方針」

○当ファンド

「メキシコ株マザーファンド」の受益証券を通じ、基本的に株式組入比率は高位とする方針です。

○メキシコ株マザーファンド

短期的には、F R Bによる利上げを控え、メキシコ株式市場が再び不安定な展開に陥る可能性があります。しかし中長期的には、高いコスト競争力を持つ輸出セクターの成長や、現政権が推し進めている構造改革による潜在成長率の押し上げなどを背景に、株価上昇トレンドは継続すると想定しています。当ファンドは、上記のような市場見通しの下、個別企業の利益成長率や株価バリュエーションなどに着目して銘柄選別を行ない、ポートフォリオを構築する方針です。

ポートフォリオについて

○当ファンド

「メキシコ株マザーファンド」の受益証券を通じ、株式組入比率をおおむね95%程度以上としました。

○メキシコ株マザーファンド

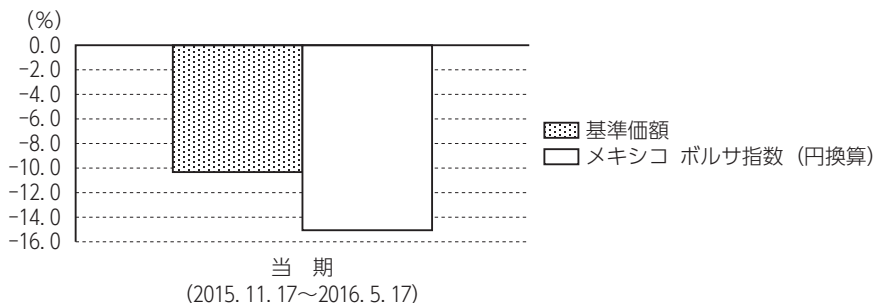
当期は、株式組入比率を95～98%程度とし、経済情勢や業界動向等の分析と個別企業のファンダメンタルズ、成長性、株価バリュエーション等の分析の組み合わせにより、ポートフォリオを構築しました。格安航空会社の参入による航空旅客需要を取り込んでいる空港運営会社の GRUPO AEROPORTUARIO DEL CENT（資本財・サービス）や、金融サービスへの強い需要の恩恵を受けるとみられるマイクロファイナンス会社 GENTERA（金融）、中小企業向けリース会社 UNIFIN FINANCIERA（金融）などを買付けました。一方で、業績見通しが悪化したメディア会社 GRUPO TELEVISIA（一般消費財・サービス）や、銅価格下落の悪影響を受ける GRUPO MEXICO（素材）などを売却しました。

足元のポートフォリオは、業種では、食品会社や飲料会社を中心とした生活必需品セクターや、自動車部品会社を中心とした一般消費財セクターを高位の組み入れとしました。個別銘柄では、米国や欧州でトルティーヤの販売が好調な GRUMA（生活必需品）や、貸し出しの増加や利ざやの拡大が見られる GRUPO FINANCIERO BANORTE（金融）などを高位の組み入れとしました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数（メキシコ ボルサ指数（円換算））との騰落率の対比です。参考指数はメキシコ株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当期は、基準価額の水準等を勘案して、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目		当 期
		2015年11月18日 ～2016年5月17日
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	27

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

《今後の運用方針》

○当ファンド

「メキシコ株マザーファンド」の受益証券を通じ、基本的に株式組入比率は高位とする方針です。

○メキシコ株マザーファンド

短期的には、米国景気などを中心に外部環境は良好ですが、中国景気の持ち直しには持続性に疑問符がつくため注意が必要とみています。中長期的には、高いコスト競争力を持つ輸出セクターの成長や、現政権が推進している構造改革による潜在成長率の押し上げなどを背景に、株価上昇トレンドは継続すると想定しています。当ファンドは、上記のような市場見通しの下、個別企業の利益成長率や株価バリュエーションなどに着目して銘柄選別を行ない、ポートフォリオを構築する方針です。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	(2015. 11. 18～2016. 5. 17)		
	金 額	比 率	
信託報酬	79円	0. 886%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は8, 883円です。
(投信会社)	(38)	(0. 430)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販売会社)	(38)	(0. 430)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(2)	(0. 027)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	13	0. 149	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数
(株式)	(13)	(0. 149)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	35	0. 398	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(35)	(0. 388)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(1)	(0. 007)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	127	1. 433	

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注 2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注 3) 比率欄は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況
親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2015年11月18日から2016年 5月17日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
メキシコ株 マザーファンド	8, 109	7, 300	2, 454	2, 100

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2015年11月18日から2016年 5月17日まで)

項 目	当 期
	メキシコ株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	103, 129千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	153, 324千円
(c) 売買高比率 (a) ／ (b)	0. 67

(注 1) (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。
(注 2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

■投信会社（自社）による当ファンドの設定・解約および保有状況

期首保有額	期中設定額	期中解約額	期末保有額	取引の理由
百万円	百万円	百万円	百万円	
100	—	—	100	当初設定時における取得

(注 1) 金額は元本ベース。
(注 2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表
親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
メキシコ株 マザーファンド	167, 520	173, 175	154, 455

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年 5月17日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
メキシコ株マザーファンド	154, 455	99. 0
コール・ローン等、その他	1, 632	1. 0
投資信託財産総額	156, 087	100. 0

- (注 1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注 2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、5月17日における邦貨換算レートは、1 アメリカ・ドル＝108. 96円、1 メキシコ・ペソ＝5. 94円です。
(注 3) メキシコ株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(153, 219千円) の投資信託財産総額 (156, 113千円) に対する比率は、98. 1% です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年 5月17日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	156, 087, 581円
コール・ローン等	1, 632, 349
メキシコ株マザーファンド (評価額)	154, 455, 232
(B) 負債	1, 367, 300
未払信託報酬	1, 363, 230
その他未払費用	4, 070
(C) 純資産総額 (A－B)	154, 720, 281
元本	176, 392, 877
次期繰越損益金	△ 21, 672, 596
(D) 受益権総口数	176, 392, 877口
1 万口当り基準価額 (C／D)	8, 771円

- * 期首における元本額は169, 254, 701円、当期中における追加設定元本額は 9, 062, 575円、同解約元本額は1, 924, 399円です。
* 当期末の計算口数当りの純資産額は8, 771円です。
* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は21, 672, 596円です。

■損益の状況

当期 自2015年11月18日 至2016年 5月17日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 29円
受取利息	48
支払利息	△ 77
(B) 有価証券売買損益	△ 15,670,742
売買益	275,974
売買損	△ 15,946,716
(C) 信託報酬等	△ 1,367,300
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 17,038,071
(E) 前期繰越損益金	△ 4,072,000
(F) 追加信託差損益金	△ 562,525
(配当等相当額)	(48,714)
(売買損益相当額)	(△ 611,239)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 21,672,596
次期繰越損益金 (G)	△ 21,672,596
追加信託差損益金	△ 562,525
(配当等相当額)	(48,714)
(売買損益相当額)	(△ 611,239)
分配準備積立金	430,330
繰越損益金	△ 21,540,401

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表を参照。
- (注4) 投資信託財産（親投資信託）の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：427,780円（未監査）

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	430,330円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	48,714
(d) 分配準備積立金	0
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	479,044
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	479,044
(h) 受益権総口数	176,392,877口

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

メキシコ株マザーファンド

運用報告書 第2期（決算日 2016年5月17日）

（計算期間 2015年11月18日～2016年5月17日）

メキシコ株マザーファンドの第2期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	イ. メキシコの金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および店頭登録予定を含みます。以下同じ。）の株式および不動産投資信託証券（不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券をいいます。以下同じ。） ロ. メキシコの企業のＤＲ（預託証券） ハ. メキシコの株価指数を対象指数とした上場投資信託証券（ＥＴＦ）
運用方法	①主として、メキシコの株式等（※）に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。 ※当ファンドにおけるメキシコの株式等とは、メキシコの金融商品取引所上場および店頭登録の株式および不動産投資信託証券、メキシコの企業のＤＲ（預託証券）ならびにメキシコの株価指数を対象指数としたＥＴＦをいいます。また、メキシコから売上または利益の大半を得ていると運用委託会社が判断する企業の株式に投資する場合があります。 ②運用にあたっては、以下の点に留意します。 イ. 時価総額や流動性を勘案して投資対象銘柄を選定します。 ロ. 投資対象銘柄について、ボトムアップ・アプローチに基づいて個別企業の分析を行ない、高い利益成長が期待できる銘柄、収益力等に対して株価が割安と判断される銘柄などを組入候補銘柄として選定します。 ハ. 株価バリュエーション、業種分散等を勘案し、ポートフォリオを構築します。 ③外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。 ④株式等の組入比率は、通常の状態で高位に維持することを基本とします。 ⑤為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
株式組入制限	無制限

大和投資信託

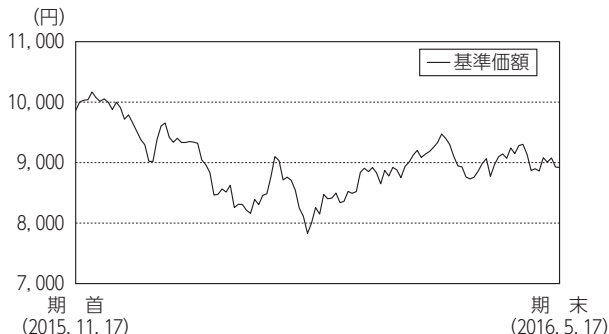
Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

メキシコ株マザーファンド

■当期中の基準価額と市況の推移



年 月 日	基 準 価 額		メキシコ ボルサ指数 (円換算)		株式 組入 比率	株式 先物 比率	投資信託 証券 組入比率
	円	騰落率	参考指数	騰落率			
(期首) 2015年11月17日	9,862	—	9,199	—	97.1	—	—
11月末	9,997	1.4	9,383	2.0	97.1	—	—
12月末	9,338	△ 5.3	8,703	△ 5.4	97.3	—	—
2016年 1 月末	8,761	△ 11.2	8,016	△ 12.9	98.1	—	—
2 月末	8,492	△ 13.9	7,759	△ 15.7	96.8	—	—
3 月末	9,473	△ 3.9	8,655	△ 5.9	97.7	—	—
4 月末	9,302	△ 5.7	8,371	△ 9.0	98.3	—	—
(期末) 2016年 5 月17日	8,919	△ 9.6	7,814	△ 15.1	97.5	—	—

(注 1) 騰落率は期首比。

(注 2) メキシコ ボルサ指数 (円換算) は、メキシコ ボルサ指数 (メキシコ・ペソベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。

(注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注 4) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：9,862円 期末：8,919円 騰落率：△9.6%

【基準価額の主な変動要因】

雇用者数の増加や低インフレ率を背景にメキシコの消費は好調を維持しましたが、中国や米国景気の減速に対する警戒感が悪材料となりました。このような環境の中、メキシコ株式に投資した結果、保有していたメキシコ株式は現地通貨建てで上昇したものの、為替相場でメキシコ・ペソが対円で下落したことが響き、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○メキシコ株式市況

期首から2016年1月にかけては、米国や中国の景気減速懸念が強まったことや、原油価格の急落により投資家の不安心理が高まったことなどを背景に、メキシコ株式市況は軟調な展開となりました。その後は、F R B (米国連邦準備制度理事会) が目先の利上げを見送るとの見方が強まったことを機に反発に転じました。さらに2月には、メキシコ政府が健全な財政収支を維持するための歳出削減を発表すると同時に、メキシコ中央銀行が予想外の利上げと機動的な為替介入政策の導入を発表したことも好感され、3月後半にかけて堅調な展開が続きしました。その後は、好調なメキシコの消費が好感された一方で、メキシコ株式市場の代表的株価指数であるボルサ指数が過去最高値に近づき利益確定売りが増えたことや、一部大手企業の決算が市場予想を下回ったことが失望されたため、方向感のない展開が続き、期末を迎えました。

○為替相場

主要な投資先であるメキシコ・ペソは期首7円台前半で始まり、米国や中国の景気失速懸念や、原油価格の下落によるメキシコの財政収支への悪影響が懸念されたため、2016年2月にかけてペソ安が進行し、一時は5.8円台まで下落しました。その後は、メキシコ政府とメキシコ中央銀行による共同の政策対応や、原油価格の回復、F R Bの利上げの先送り観測などを背景に、3月にかけて6円台半ばまでペソは上昇しました。しかし、円が主要通貨に対して急速に上昇したことでペソも円に対して下落し、5円台後半で期末を迎えました。

◆前期における「今後の運用方針」

短期的には、F R Bによる利上げを控え、メキシコ株式市場が再び不安定な展開に陥る可能性があるかとみています。しかし中長期的には、高いコスト競争力を持つ輸出セクターの成長や、現政権が推し進めている構造改革による潜在成長率の押し上げなどを背景に、株価上昇トレンドは継続すると想定しています。当ファンドは、上記のような市場見通しの下、個別企業の利益成長率や株価バリュエーションなどに着目して銘柄選別を行ない、ポートフォリオを構築する方針です。

◆ポートフォリオについて

当期は、株式組入比率を95～98%程度とし、経済情勢や業界動向等の分析と個別企業のファンダメンタルズ、成長性、株価バリュエーション等の分析の組み合わせにより、ポートフォリオを構築しました。格安航空会社の参入による航空旅客需要を取り込んでいる空港運営会社の GRUPO AEROPORTUARIO DEL CENT (資本財・サービス) や、金融サービスへの強い需要の恩恵を受けるとみられるマイクロファイナンス会社 GENTERA (金融)、中小企業向けリース会社 UNIFIN FINANCIERA (金融) などを買付けました。一方で、業績見通しが悪化したメディア会社 GRUPO TELEvisa (一般消費財・サービス) や、銅価格下落の悪影響を受ける GRUPO MEXICO (素材) などを売却しました。

足元のポートフォリオは、業種では、食品会社や飲料会社を中心とした生活必需品セクターや、自動車部品会社を中心とした一般消費財セクターを高位の組み入れとしました。個別銘柄では、米国や欧州でトルティーヤの販売が好調な GRUMA（生活必需品）や、貸し出しの増加や利ざやの拡大が見られる GRUPO FINANCIERO BANORTE（金融）などを高位の組み入れとしました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。

参考指数（メキシコ ボルサ指数（円換算））はメキシコ株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。

《今後の運用方針》

短期的には、米国景気などを中心に外部環境は良好ですが、中国景気を持ち直しには持続性に疑問符がつくため注意が必要とみています。中長期的には、高いコスト競争力を持つ輸出セクターの成長や、現政権が推進している構造改革による潜在成長率の押し上げなどを背景に、株価上昇トレンドは継続すると想定しています。当ファンドは、上記のような市場見通しの下、個別企業の利益成長率や株価バリュエーションなどに着目して銘柄選別を行ない、ポートフォリオを構築する方針です。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式)	13円 (13)
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用) (その他)	36 (35) (1)
合 計	49

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出方法については前掲の「1 万口当りの費用の明細」の項目の概要をご確認ください。

(注 2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

株 式

(2015年11月18日から2016年 5 月17日まで)

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	メキシコ	百株 1,791 (53.52)	千メキシコ・ペソ 8,479 (△ 32)	百株 1,477	千メキシコ・ペソ 7,414

(注 1) 金額は受渡し代金。
(注 2) () 内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。
(注 3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

株 式

(2015年11月18日から2016年 5 月17日まで)

当 期				期			
買 付				売 付			
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
GRUPO AEROPORTUARIO DEL CENT (メキシコ)	12.3	7,069	574	GRUPO TELEvisa SAB-SER CPO (メキシコ)	10.8	6,845	633
GENTERA SAB DE CV (メキシコ)	34.5	7,054	204	GRUPO MEXICO SAB DE CV-SER B (メキシコ)	18.3	5,007	273
GRUMA S. A. B. -B (メキシコ)	3.8	6,358	1,673	GRUPO AEROPORT DEL PACIFIC-B (メキシコ)	4.6	4,769	1,036
UNIFIN FINANCIERA SAB DE CV (メキシコ)	14.5	4,504	310	MEGACABLE HOLDINGS-CPO (メキシコ)	8.5	3,974	467
FOMENTO ECONOMICO MEXICA-UBD (メキシコ)	4.3	4,466	1,038	GRUPO LALA SAB DE CV (メキシコ)	11	3,291	299
MEGACABLE HOLDINGS-CPO (メキシコ)	8.2	3,696	450	KIMBERLY-CLARK DE MEXICO-A (メキシコ)	11.5	3,173	275
ALPEK SA DE CV (メキシコ)	14	2,458	175	INFRAESTRUCTURA ENERGETICA N (メキシコ)	6.5	3,118	479
ARCA CONTINENTAL SAB DE CV (メキシコ)	3.3	2,445	741	GRUPO FINANCIERO INBURSA-O (メキシコ)	12	2,687	223
ELEMENTIA SAB DE CV (メキシコ)	18	2,423	134	GRUMA S. A. B. -B (メキシコ)	1.6	2,674	1,671
CEMEX SAB-CPO (メキシコ)	30	2,197	73	BOLSA MEXICANA DE VALORES SA (メキシコ)	14	2,620	187

(注 1) 金額は受渡し代金。
(注 2) 金額の単位未満は切捨て。

メキシコ株マザーファンド

■組入資産明細表 外国株式

銘柄		期首	当	期末		業種等
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(メキシコ)		百株	百株	千メキシコ・ペソ	千円	
GRUPO AEROPORTUARIO DEL CENT		94	182	1,934	11,492	資本財・サービス
BANREGIO GRUPO FINANCIERO SA		65	70	727	4,321	金融
UNIFIN FINANCIERA SAB DE CV		176	321	1,589	9,440	金融
RASSINI SAB DE CV		160	160	1,340	7,963	一般消費財・サービス
MEGACABLE HOLDINGS-CPO		114	111	893	5,306	一般消費財・サービス
TENEDORA NEMAK SA DE CV		510	510	1,189	7,064	一般消費財・サービス
ELEMENTIA SAB DE CV		—	180	423	2,512	資本財・サービス
GRUPO AEROPORT DEL PACIFIC-B		103	57	1,063	6,318	資本財・サービス
AMERICA MOVIL SAB DE C-SER L		164	164	192	1,141	電気通信サービス
TELESITES SAB DE CV		—	8.2	9	59	電気通信サービス
GRUPO TELEvisa SAB-SER CPO		200.05	119.05	1,154	6,860	一般消費財・サービス
CEMEX SAB-CPO		1,133	1,178.32	1,419	8,434	素材
GRUMA S. A. B. -B		63	85	2,193	13,028	生活必需品
FOMENTO ECONOMICO MEXICA-UBD		75	118	1,989	11,814	生活必需品
BOLSA MEXICANA DE VALORES SA		140	—	—	—	金融
ARCA CONTINENTAL SAB DE CV		—	33	407	2,417	生活必需品
ALPEK SA DE CV		—	140	395	2,350	素材
INFRAESTRUCTURA ENERGETICA N		90	25	172	1,024	公益事業
GENTERA SAB DE CV		—	235	782	4,649	金融
GRUPO LALA SAB DE CV		265	155	706	4,197	生活必需品
GRUPO AEROPORT DEL SURESTE-B		9	—	—	—	資本財・サービス
ALSEA SAB DE CV		96	146	1,028	6,108	一般消費財・サービス
KIMBERLY-CLARK DE MEXICO-A		170	115	468	2,784	生活必需品
ALFA S. A. B. -A		376	456	1,480	8,794	資本財・サービス
GRUPO MEXICO SAB DE CV-SER B		247	64	262	1,559	素材
GRUPO FINANCIERO INBURSA-O		120	—	—	—	金融
WALMART DE MEXICO SAB DE CV		284	359	1,543	9,167	生活必需品
GRUPO FINANCIERO BANORTE-O		170	200	1,979	11,755	金融
ファンド合計	株数、金額	4,824.05	5,191.57	25,348	150,569	
	銘柄数<比率>	23銘柄	25銘柄		<97.5%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年 5月17日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	150,569	96.4
コール・ローン等、その他	5,544	3.6
投資信託財産総額	156,113	100.0

(注 1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注 2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、5月17日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝108.96円、1メキシコ・ペソ＝5.94円です。
(注 3) 当期末における外貨建純資産 (153,219千円) の投資信託財産総額 (156,113千円) に対する比率は、98.1% です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年 5月17日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	156,113,928円
コール・ローン等	2,977,996
株式 (評価額)	150,569,076
未収入金	2,397,606
未収配当金	169,250
(B) 負債	1,666,554
未払金	1,666,538
その他未払費用	16
(C) 純資産総額 (A－B)	154,447,374
元本	173,175,504
次期繰越損益金	△ 18,728,130
(D) 受益権総口数	173,175,504口
1万口当り基準価額 (C／D)	8,919円

* 期首における元本額は167,520,646円、当期中における追加設定元本額は8,109,036円、同解約元本額は2,454,178円です。
* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、メキシコ株ファンド173,175,504円です。
* 当期末の計算口数当りの純資産額は8,919円です。
* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は18,728,130円です。

■損益の状況

当期 自2015年11月18日 至2016年 5月17日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	1,681,793円
受取配当金	1,681,581
受取利息	267
支払利息	△ 55
(B) 有価証券売買損益	△ 17,041,829
売買益	16,475,303
売買損	△ 33,517,132
(C) その他費用	△ 606,624
(D) 当期損益金 (A＋B＋C)	△ 15,966,660
(E) 前期繰越損益金	△ 2,306,612
(F) 解約差損益金	354,178
(G) 追加信託差損益金	△ 809,036
(H) 合計 (D＋E＋F＋G)	△ 18,728,130
次期繰越損益金 (H)	△ 18,728,130

(注 1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
(注 2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。